

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年11月18日 (2010.11.18)

【公開番号】特開2009-233478(P2009-233478A)

【公開日】平成21年10月15日 (2009.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-041

【出願番号】特願2009-173642(P2009-173642)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月29日 (2010.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示状態が変化可能な複数の表示領域を有する可変表示部を含み、変動開始の条件の成立に応じて前記表示領域に表示される図柄の変動を開始し、前記可変表示部に導出表示される図柄の表示結果があらかじめ定められた特定表示態様となったときに遊技者に有利な遊技状態に制御可能な遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、前記可変表示部の表示制御を行う表示制御手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

前記表示結果を特定表示態様とするか否かを決定する特定表示態様決定手段と、少なくとも前記図柄の変動を開始してから表示結果を最終的に導出表示するまでの変動期間を決定する表示内容決定手段と、少なくとも前記変動期間を特定するための情報と前記表示結果を特定するための情報とを出力可能なコマンド出力手段とを含み、

前記図柄の変動の態様には、前記特定表示態様を導出表示する場合に前記表示結果として最終的に導出表示される最終特定表示態様の図柄とは別の特定表示態様の図柄を一旦導出表示させ、その後前記最終特定表示態様の図柄を表示結果として導出表示する再抽選動作態様が含まれ、

前記表示制御手段は、

前記遊技制御手段からの前記変動期間を特定するための情報に応じて、変動期間が同一であって前記再抽選動作態様の期間および当該期間において前記可変表示部に表示される図柄以外の画像の表示態様が異なる複数の変動パターンのうちからいずれか 1 つの変動パターンを選択して表示制御を行うことが可能であり、

前記別の特定表示態様の図柄を抽選により決定する仮図柄決定手段を含む

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明による遊技機は、表示状態が変化可能な複数の表示領域を有する可変表示部を含み、変動開始の条件の成立に応じて表示領域に表示される図柄の変動を開始し、可変表示部に導出表示される図柄の表示結果があらかじめ定められた特定表示態様となったときに遊技者に有利な遊技状態に制御可能な遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、可変表示部の表示制御を行う表示制御手段とを備え、遊技制御手段は、表示結果を特定表示態様とするか否かを決定する特定表示態様決定手段と、少なくとも図柄の変動を開始してから表示結果を最終的に導出表示するまでの変動期間を決定する表示内容決定手段と、少なくとも変動期間を特定するための情報と表示結果を特定するための情報とを出力可能なコマンド出力手段とを含み、図柄の変動の態様には、特定表示態様を導出表示する場合に表示結果として最終的に導出表示される最終特定表示態様の図柄とは別の特定表示態様の図柄を一旦導出表示させ、その後最終特定表示態様の図柄を表示結果として導出表示する再抽選動作態様が含まれ、表示制御手段は、遊技制御手段からの変動期間を特定するための情報に応じて、変動期間が同一であって再抽選動作態様の期間および当該期間において可変表示部に表示される図柄以外の画像の表示態様が異なる複数の変動パターンのうちからいずれか1つの変動パターンを選択して表示制御を行うことが可能であり、別の特定表示態様の図柄を抽選により決定する仮図柄決定手段を含むことを特徴とする。

そのような構成によれば、表示制御手段に送出されるコマンド数を増やすことなく図柄変動の種類を増加することができ、その結果、図柄変動の種類を増加しても遊技制御手段の図柄表示に関する制御の負担を軽くすることができる効果がある。